

2022年11月9日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

インパクト債券ファンドへの投資について ～環境・社会課題解決に向けたインパクトファイナンス～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）は、英シュローダー・グループ傘下のBlueOrchard Finance Ltdが運用受託する「BlueOrchard Impact Bond Fund - Blue I」（以下、本ファンド）への投資を実行しました。

本ファンドは、主に世界のグリーン・ボンド、ソーシャル・ボンド、サステナビリティ・リンク・ボンド等への投資を通じて、経済的リターンを獲得するとともに、国連が提唱した持続可能な開発目標である「SDGs」に貢献する環境・社会的インパクトの創出を目指すものであり、欧州SFDR（サステナブルファイナンス開示規則）における第9条（サステナブル投資を目的とする金融商品）に該当しています。

BlueOrchard Finance Ltdは国連主導で設立された20年以上の歴史を有するインパクト投資の第一人者で、同社が本ファンドで投資する債券の環境・社会的インパクトの評価および開示も行います。

当社は、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、「責任投資原則（PRI）」の考え方や、「SDGs」などを踏まえ、環境・社会・企業統治の課題を考慮する「ESG投資」に積極的に取り組んでいます。環境・社会的課題の解決に資する本ファンドへの投資は、こうした取組みの一つです。

引き続き、責任ある機関投資家としての責務を果たし、持続可能な社会の形成に貢献できるよう努めてまいります。

<本ファンドの概要>

名称	BlueOrchard Impact Bond Fund - Blue I
ファンド形態	ルクセンブルク法（RAIF法）に基づくルクセンブルク籍投資信託
運用会社	BlueOrchard Finance Ltd
特徴	主に米欧の企業や国際機関が発行する外貨建て債券の中から、一定以上の環境・社会的インパクトの創出が期待できると判断する債券に投資。
投資額	135百万ドル

<BlueOrchard Finance Ltd について>

組 織 概 要	2001 年、新興国の金融サービスへのニーズから、世界初のマイクロファイナンス投資の民間運用会社として国連主導で設立。20 年以上にわたるインパクト投資の実績を持つ。2019 年より英シュローダー・グループ傘下。
U R L	https://www.blueorchard.com/

以 上